

目 次

第1部／報告

働く母親の時代……………金森トシエ……1

I. はじめに……………1

- 1)80年代は「働く母親の時代」……1
- 2)マスメディアの話題から……2
- 3)世界の公的機関の動向……4

II. 就業主婦の増加と背景……………5

- 1)働く女性の8割弱が既婚者……5
- 2)主婦の2人に1人が働いている…6
- 3)背景と予測——家計と生きがいと…7

III. 職業と家庭責任……………10

- 1)共働き、むかしといま……10
- 2)雇用フルタイマーの場合……12
- 3)パートタイム制という、もうひとつの道……15
- 4)かあちゃん農業……23
- 5)非農林自営業・家内労働……25

IV. おわりに……………28

- 1)母親が働き続けられる条件……28
- 2)ひとつの提案——地域福祉の職業の創出……32
- 3)展望——世界の流れの中で……35

第2部／座談会

いま主婦はどう働いているか……………39

出席者 金森トシエ 井戸 和男
多田とよ子 田中喜美子
司会 湯沢 雅彦

I. 課題の意味するもの……………40

- 1)はじめに……………40
- 2)メインレポートの意図……………41

II. さまざまな職業の中で.....44

1)第3次産業の職場.....44	2)工場労働者としての主婦.....47
3)パートの主婦.....49	4)どのくらい働きに出ているか.....50
5)塾の先生.....52	6)再雇用のライセンス.....54
7)育児と保育.....57	8)市民運動より昼寝.....60
9)モーレッツ社員とその妻.....61	10)共働きの工場労働者.....62
11)職場は男性本位.....63	12)エリートの子は変わるか.....66
13)福井の女はなぜ働く.....67	14)高いパートはできないか.....70
15)高学歴の主婦は.....71	16)女同士の引っ張りあい.....74
17)集団管理から個別管理へ.....75	18)職場でも責任を.....77
19)大卒女性の能力.....78	

III. 家庭に与える影響.....81

1)子どもに対して.....82	2)夫に対して.....83
3)母の働く姿勢.....83	4)再就職にそなえて.....85
5)いくつかの提案.....86	